

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設
事務事業名	消防団詰所・車庫維持管理費		事業コード	23130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63 年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防法、消防組織法（第20条 消防庁長官の助言等）	消防力の基準（消防庁告示第1号）、浄化槽法
---------------------------	-----------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
災害発生時の被害の軽減を図るため、消防団活動の拠点となる詰所・車庫の施設及び設備を適正に維持管理をする。 環境面においては、省エネルギー等環境に配慮した中で、光熱水費の経費の削減を図ることを目的とする。		市民全般	
		対象数	61万市民
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
環境配慮行動として、施設内の部分消灯による電気使用量等の抑制をして、省エネルギー行動を実行する。 総事業費 3,348千円 需用費 2,010千円 役務費 5千円 委託料 166千円 使用料及び賃借料 174千円 備品購入費 993千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	環境配慮行動による、電気使用の削減		
指標式	前々年度の電気使用料－前年度電気使用料（単位：千円）		
指標設定の意図	環境配慮行動による電気使用料を対前年度比較をする		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	1,514	1,524	a 1,528	b 1,565	1,540	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算（予算）額	2,368	3,253	2,881	3,348	3,082
	人員・時間数	103h	103h	103h	103h	103h
	人件費	429	429	429	429	429
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	2,797	3,682	3,310	3,777	3,511
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 97.6%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{1,528.0}{1,565.0} \times 100 = 97.6\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由:	電気使用料(光熱水費)については、災害発生時に消防団活動の拠点となる施設のため、災害件数に比例して増加してしまうが、それ以外の時には部分消灯を図るなどして、経費の節減を図っている。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	昭和29年から市消防団として活動を行っており、現在56施設あるうち、維持管理の面からは特に支障をきたしている施設はない。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	環境配慮を考慮し管理業務等を委託する中で、それによりコストが多くかかる部分もあり、費用対効果の判断が必要となった。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	基本的に市町村単位で消防全般の責務を負っており、県・民間との分担及び転換の可能性はない。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	消防団詰所・車庫を適正に維持管理することにより、災害発生時に早急な対応を取ることができる。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	複雑多様化する災害に対応するために、その拠点となる施設の維持管理は消防力の強化面からも必要である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> 築30年を超える建物など、設備的にも老朽化が進んでいる施設もある中、熱効率の低下等の設備の交換を行い、光熱水費経費の削減を図れるなど、さらなる成果向上の余地がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> 年々災害が増加していること及び環境負荷の低減に取り組んでいることなどから、設備機能の維持管理コストを減らすことは難しい。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	他都市においても同様に執行している。
	<p>今後の進め方</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
		説明	本事業に関しては、24時間災害発生時において瞬時に対応するために、消防活動の拠点施設として、維持管理は欠かせないものである。また、台風など特異気象時には、職員の参集場所等になっていることなどから、省エネルギー対策等については厳しい部分もあるが、関係職員等が常に環境配慮について意識して行動をとっており、今後も引き続き努めていきたい。

8 二次評価における変更点

--